

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 29

事務事業名	カーブミラー設置事業
-------	------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	市長公室		
課名	安全対策課		
課長名	田中 勝保	内線	216
担当者名	楠本 哲夫	内線	214

基本目標		安全・安心なまち
政策	030301	交通安全と消費者保護の推進
施策		交通安全の推進
関連施策		

会計	一般会計	
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	9	交通安全対策費
事業コード	020201	カーブミラー設置事業

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	市民		
意図 対象をどのような状態にしたいか	交通危険個所にカーブミラーを設置することにより、交通事故の防止を図る。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	○見通しの悪い交差点等における交通事故防止のため、カーブミラー(一面又は二面)を設置する。 ○設置希望箇所の町内会長名で申請してもらい、道路種別によって担当課へ振り分ける。(市道:道路課、農道:農林整備課、私道:安全対策課) ○支柱又は鏡面破損などの修繕を行う。		
事業期間	年度 ~ 平成 年度	実施方法	直営
根拠法令、要綱等			
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 設置要望件数と設置件数	計画値	18	19	17	10	
		実績値	14	12	6		
	計画地:設置要望件数 実績値:設置件数(実績)	達成度	77.8%	63.2%	35.3%		
成果指標	②	計画値					
		実績値					
	達成度	%					
①	設置件数	計画値	5	3	1	3	
		実績値	14	12	6		
	達成度	%	280.0%	400.0%	600.0%		
	② 事故発生件数	計画値	2,000	2,000	2,000	1,900	
実績値		2,139	2,155	1,958			
実績数(人身事故+物損事故)	達成度	%	107.0%	107.8%	97.9%		

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	2,332	1,350	1,323	1,416	1,560	1,500	1,500	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債					1,560			
その他								
一般財源	2,332	1,350	1,323	1,416		1,500	1,500	
② 人件費(千円)	1,192	1,134	917	1,091	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.15	0.15	0.13	0.15	カーブミラーの設置・修繕	カーブミラーの設置・修繕	カーブミラーの設置・修繕	
時間外勤務(時間)	0	0	0	0				
嘱託等人数(人)	0.00	0.00	0.00	0.00				
フルコスト(①+②千円)	3,524	2,484	2,240	2,507				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	施工に関する手続きの円滑化、設置後の維持管理の即応性を図るため、申請から設置までの窓口を一本化にすることが、より住民サービスにつながると考えるが、今年度も現状のままである。
事業が抱える問題・課題等	宅地造成が進み、以前では見通しが良かった場所が危険箇所となっていることもあり設置要望が増えている。また、老朽化による修繕の他、宅地開発、道路拡幅による移設が必要な箇所も多く出ている。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	市内の交通量は年々増加し、交通事故件数も依然として高いという交通情勢を踏まえ、道路構造上及び交通量等必要と認められた場合は、設置しなければならないと考える。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	市道等に係る交通安全施設については、公道であり、市の関与は当然である。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	要望箇所に設置し、見通しの悪い場所を減らすことは、事故防止に有効である。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	必要と認められる箇所へ設置することにより、事故件数の減少につながり、施策の目標達成として有効と思われる。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	必要最小限で効果が出るよう工夫している。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性 その他の見直し

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	現在、申請窓口は当課、施工については、当課の他、道路課及び農林整備課と三課に分かれており、二重行政となっている状況である。そこで、申請から設置までの窓口を一本化することが、より住民サービスにつながると思われるため、事業の見直しを検討する必要がある。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	施工に関する手続きの円滑化、設置後の維持管理の即応性を図ることができる。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。